

## 【スタッコフレックスの施工手順(3×10板による乾式工法)】



3×10板の目地部分をベースコートで埋め、メッシュテープ(W=152mm)を貼ります。コーナージョイントは、メッシュテープが半分に重なるようにダブルで貼ってください。(役物を使用の場合を除く)



コテ及びパテヘラでメッシュテープの上からベースコートを塗り、表面がフラットになるようにしごきます。



ベースコートの仕上げ幅は、250～400mmとなります。



乾燥後、金ヘラ、サンドペーパー等でバリ取りをします。



サイディングと目地処理部分の段付きやバリがないように仕上げてください。



(コーナ一面) (フラット面)

下地処理完了。乾燥を確認後シーラー処理を行い、仕上げの準備に入ります。



仕上げ塗装の前にスタッコフレックスフィニッシュを攪拌機で十分攪拌します。あらかじめ出荷時に粘度調整をしますが、吹き付けにくい場合は清水を少量ずつ加えながら、粘度の調整をして下さい。

### 吹付け仕上げ



4～6mm口径のノズルで全面に吹き付けを開始します。目地処理部分と境界部がフラットとなるように下吹きを行ってください。仕上げは各面ごとに仕上げてください。



〈吹付け施工例〉  
3×10板に目地処理を施し、スタッコフレックスサンドフィニッシュを吹付け。

### コテ塗り仕上げ



コテ等を用いて、好みのテクスチャーに仕上げます。速乾性ですので、各面ごとに仕上げてください。



〈コテ塗り施工例〉  
3×10板に目地処理を施し、スタッコフレックスサンドフィニッシュをコテ塗り。